

平成 28 年 4 月  
堺 市 契 約 課

### 技術者等経歴書（建設工事）の記入方法について

建設工事における主任技術者について、実務経験により主任技術者資格を満たす場合は、該当業種の過去工事の従事期間の積上げにより計算しており、技術者等経歴書の記入方法については、月単位で記入することとしています。

今回、記入方法の簡素化を図るため、技術者が該当業種の工事を連続して施工していた場合には、技術者等経歴書に記入する際に、前工事の工期末から次工事の工期初めの間隔が12か月以内となるようにすれば、その間の工事の記入を省略できることとします。

なお、記入を省略できる条件は、当該期間内に該当業種の工事を連続して施工していることであり、該当業種と異なる業種の工事を行っていた場合は、その間の工事の記入を省略できませんので、異なる業種の工事の前後に施工した該当業種の工事を技術者等経歴書に記入してください。

また、今回新たに、代表者または受任者が、配置予定技術者本人に、技術者等経歴書の内容に相違がないかを確認したことを証明するための押印欄を設けましたので、確認が済みましたら押印をしてください。

今回の取扱いによる技術者等経歴書の記入例は、後日ホームページに掲載します。

# 技術者等経歴書(建設工事・実務経験者用)

次のとおり、実務の経験を有することに相違ないことを証明します。

平成 年 月 日

所在地

商号又は  
名称

代表者  
職氏名

印

技術者氏名		従事期間のうち、 他業種の経歴又は 建設工事に従事して いない期間の有無	無・有( 年 月 )
生年月日			
建設業法第7条第2号イに該 当する者(指定学科卒業者)	学校名	学部・学科名	卒業年月 年 月卒業
建設業法第7条第2号ハに該 当する者のうち実務経験を要 する者	技能検定における検定種目、免許、資格等		合格・取得・登録年月日 年 月 日
実務経験により主任技術者 資格を満たす建設工事業の 種類(該当種類に○印)	土 建 大 左 と 石 屋 電 管 夕 鋼 筋 舗 し ゅ 板 ガ 塗 防 機 内 絶 通 園 井 具 水 消 清 解		
実務経験年数 (主任技術者資格を満たす年数に○印)	10年・5年・3年・1年 以上		
所属事業所名	実務経験の内容(工事名称等)	従事期間	
		年 月から 年 月まで	
		年 月から 年 月まで	
		年 月から 年 月まで	
		年 月から 年 月まで	
		年 月から 年 月まで	
		年 月から 年 月まで	
		年 月から 年 月まで	
		年 月から 年 月まで	
		年 月から 年 月まで	
		年 月から 年 月まで	
		年 月から 年 月まで	
		年 月から 年 月まで	
		年 月から 年 月まで	
		年 月から 年 月まで	
		年 月から 年 月まで	
		年 月から 年 月まで	
		年 月から 年 月まで	

- ・実務経験とは、当該工事等に技術者、設計技術者、現場監督技術者等として実質的に従事した技術上の経験をいい、事業所での雇用期間、当該工事等の工期・履行期間を指すものではないので注意すること。
- ・建設業法第7条第2号のイに該当する者は指定学科に応じた年数、同号のロに該当する者は10年以上、同号のハに該当する者は技能検定における検定種目、取得免許・資格等に応じた年数の実務経験を有することが確認できる直近の内容を記入すること。
- ・記載した実務経験については、必要に応じて別途確認書類をを求めるものとする。
- ・この技術者等経歴書に記入した期間や業種の変更は、次回の事後審査申請以降、変更は認められないので注意すること。